

**KANAYA-T.JP**

**KANAYA 事務局**

〒933-0909 富山県高岡市開発本町 1-1  
高岡地域地場産業センター 3F  
高岡銅器協同組合内

TEL : 070-5630-2933

FAX : 0766-22-0320

Mail : info@kanaya-t.jp



TAKAOKA • JAPAN

















## KANAYAについて

KANAYAは高岡銅器（富山県）の金属鑄造技術によるブランドです。

高岡銅器とは、1611年（慶長16年）加賀藩主、前田利長が町の繁栄を図るために

7人の鑄物師を高岡市金屋町に呼び寄せたことからはじまりました。

そして誕生から400年を迎えた2011年にKANAYAは生まれました。

「人々の豊かな時間と共に在るブランド」をコンセプトに、職人の手によって丁寧に

作り上げられる金属鑄物にデザインや機能を付加し現代のライフスタイルに

マッチした製品を提案しています。

KANAYA製品は購入した時が完成形ではなく、人と日々触れ合うことで、時間と共に独特の

なめらかな感触が生まれ真の美しさが溢れだします。つまり人と共に生きていく製品なのです。

そのために、人々にとって本当に魅力的なものづくりを心掛けています。

## 参加企業（高岡銅器協同組合）

大寺幸八郎商店  
（株）織田幸銅器  
折橋治吉商店  
（株）KANAYA  
京橋秀起商店  
（株）銀豊堂  
（株）関菊

専従カズオ商店  
（株）竹中銅器  
（株）ニューズ・インターナショナル  
（株）宮津商店  
（株）四津井  
（有）四津川製作所

プロデューサー：桐山 登士樹（株）TRUNK

コーディネーター：高橋 三和（株）TRUNK

グラフィックデザイナー：木村 愛

フォトグラファー：尾鷲 陽介 大木 大輔

撮影場所：リバーリトリート雅樂俱



### 紺野弘通

スウェーデンのウメオ大学アドバンスト・プロダクトデザイン・マスターコースに在学中、Ross Lovegroveのデザインスタジオへ移籍する。2002年にロンドンで独立し、2008年にデザインスタジオを東京に開設する。Fritz Hansen や Georg Jensen、Stelton、Skagen などの北欧ブランドを中心に、様々な企業とプロジェクトを行っている。ELLE DECO Young Japanese Design Talent と Red Dot Design Award を受賞している。



### 小林幹也

1981年東京都生まれ。2005年武蔵野美術大学卒業。インテリアデザイン会社勤務後、MIKIYA KOBAYASHI DESIGN 設立。家具、プロダクトからインテリアデザインまで暮らしに関わるデザインに幅広く携わり、国内外の企業とプロジェクトを手掛ける。2010年ドイツのiF product design awardにて金賞、Red Dot Design Award受賞など受賞歴多数。2011年には自身の事務所にショップ「TAIYOU no SHITA」を東京都目黒区にオープン。2012年 株式会社小林幹也スタジオ設立。



### SOMA DESIGN

廣川玉枝、福井武を中心に2006年ファッション、グラフィック、プロダクト、映像などヴィジュアルディレクション及びデザイン活動を開始。廣川は同時にブランド「SOMARTA」を立ち上げ、2007年春夏より東京コレクションにて発表。ショープロダクションからアートディレクションはSOMA DESIGNが手掛ける。主な作品に、Canon NEOREAL展（Milan Design Week 2008）、TOYOTA「iQ x SOMARTA MICROCOSMOS」展（DESIGNTIDE TOKYO 2008）、ユニクロ UT Designers Invitation [UT x SOMA DESIGN]（2009）、会津塗BITOWA「BITOWA DÉCOR」、"BITOWA modern"。



### 森 ひかる

1991年東京芸術大学大学院修了後、渡伊。ミラノにおいてデザイン、建築、ランドスケープを主体に統合的、流動的な立場でプロジェクトを行う。1999年よりZITO+MORIとしてMAURIZIO ZITOと建築ユニットを組む。主な作品に、照明システム「ADAM」（LUCITALIA）、バスルームシステム「STONE LIKES WATER」（PIBAMARM）、照明「Carmencita」（NEMO-CASSINA）。建築作品に「FEUDI DI SAN GREGORIO 社」（フィナリー）、「BISCEGLIA 社」（フィナリー）、「Atripalda 市市民公園」、「Vigna la Corte」（複合商業宿泊施設）。2010年イタリア建築学会カンパニア州建築賞受賞。2011年「イスカ国際建築賞」銀賞。



### SHIMOO DESIGN

下尾和彦、下尾さおりによるユニット作家。互いに家具作りの修行を経て、1997年富山市八尾町にアトリエを設立。「美しい道具」をコンセプトに、日本の文化や美意識を現代のライフスタイルに落とし込むことを目的としている。主に木製家具、インテリア小物のデザイン・製作。他の素材を使ったプロダクトデザインも手がけ、流行や時代を感じさせない「日本の美」を追求する。主な作品に、テーブルレイシリーズ（2008 ミッシェル・トロワグロ）、「CHAJOKU」立礼卓（2008 寿月堂バリ店）、「縁具」。1998年/2001年 工芸都市高岡クラフトコンペグランプリ他受賞多数。



### 坪井浩尚

1980年東京都生まれ。2004年多摩美術大学卒業。デザインブランド、100%の立ち上げに参画、同ブランドのデザインを手がける。2007年Hironao Tsuboi Designを設立。主な作品に、iida「LIGHT POOL」、middle「Humidifier」、100%「Lamp/Lamp」等。対象の環境を柔軟に読み解く、多角的なアプローチに定評があり、様々な製品を手がけている。2008年 I.D.Magazine「World emerging designers 40」、2009年 D&AD「Creative Faces, Japan's most exciting new design talent」、2010年 ELLE DECO「Young Japanese Design Talent 2010」受賞等。



### 清水久和

1964年長崎県生まれ。桑沢デザイン研究所を卒業後、キヤノン株式会社を経て、現在、S&O DESIGN 株式会社代表 / デザイナー。桑沢デザイン研究所非常勤講師。キヤノンのデジタルカメラ「iXY Digital」のチーフデザイナーとして同シリーズを世界シェア No.1 に導き、ドイツ iF 賞や G マークを多数受賞するなど、インダストリアルデザインの分野で高い実績がある。近年は限定生産の作品も手がけ、代表作の鏡の髪型「シリーズはフランスのギャラリー「Galerie DOWNTOWN」を通し販売。2011年、オランダの「Galerie VIVID」で個展を開催し、新作「FRUITS」シリーズを発表した。



### TRUNK

KANAYA プロデューサー 桐山登士樹  
ブランドコーディネーター 高橋三和  
デザインマーケティング、ブランドプロデュース、プロモーションをはじめ、コンシューマーの意識を喚起する意味においてデザインセミナー・発表会等のイベント、デザイン展、建築展と多岐に渡り企画・コーディネート、そして総合プロデュースなどを行なっている。Canon NEOREAL 展（Milan Design Week）、BITOWA（福島県会津塗）など多数のプロジェクトをプロデュース。桐山は富山県総合デザインセンター デザインディレクターを兼務。

## DESIGNERS